

(講演者紹介)COVID-19感染拡大下での新入医局員勧誘方法の検討

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-12-21 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 富永, 絢子 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10470/00033063

講演者紹介

タイトル : COVID-19 感染拡大下での新入医局員勧誘方法の検討

所属 : 整形外科学講座 整形外科学分野 (整形外科)

教授・基幹分野長 : 岡崎 賢

メンバー : 富永 絢子、岩倉 菜穂子、倉光 祐二郎、伊藤 淳哉、肥沼 直子

演 者 : 富永 絢子

【背景】

COVID-19 の全世界的蔓延に伴い、今まで当然のように行ってきた活動に多くの制限がつくこととなった。ここ 100 年でみると前代未聞の流行性感染症であり、1 つ 1 つの対策もどれが正解か判断が難しく手探りで制度改革が続いている。

【課題】

入局者確保も同様であり、人の動きが制限される中での入局者獲得にむけた最善の方法を検討する。

【目標】

COVID-19 下における新入医局員の確保

【取組概要】

- ・本学医学部生 (特に実習時に整形外科に興味があると述べた学生) への早期からの積極的かつ継続的勧誘
- ・他大医学部生に対しても、学生時からの継続的勧誘
- ・学外へのアピールの拡充 (HP や SNS など含む)
- ・関連病院研修医への積極的働きかけ
- ・パンフレットの作成

【成果】

当科は以前より積極的な入局者勧誘を行っている。このため毎年平均して 4~6 人程度の入局者を確保出来ている。2021 年度の新入医局員は 4 人であった。内訳は女性 1 人、男性 3 人。また本学卒業生 0 人、本学研修医 0 人、関連病院研修医 1 人であった。

【考察】

2021 年度は元々 7 人の入局希望者がいたが、諸般の事情により 4 人となった。しかしこの COVID-19 などの混乱の中、4 人の有望な人材を迎えられたことは大変喜ばしいことである。本学は世界でも稀に見る学部学生が女性のみを医科大学であり、本来女性医師が敬遠しがちである整形外科にも女性医局員の比率は比較的高い。今回入局してくれた女性医師は本学卒業生ではないが、ライフイベント後も医師業の継続を出来るようにと当医局に入局を決めてくれた。このように女性医師の在籍、活躍を種々の方

法でアピールすることでも、新たな医局員確保の手段となるだろう。またホームページなどでも整形外科各分野の活動・研究内容・論文発表を積極的にアピールし常時更新することで、対面式勧誘が難しい中でも男性医師・女性医師問わず当科の魅力を伝えることが出来ると考える。2021年度入局者勧誘には間に合わなかったが、新規パンフレットを作成することによってメール添付などでより当科の魅力を発信出来ると確信する。来年度以降も当科を検討してくれている多くの医師(本学学生を含め)から連絡を頂いている。是非2022年度入局者も上記同様積極的に確保していきたい。